



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 セメダイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4999 URL http://www.cemedine.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩切 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 栢野 宣昭 (TEL)03 (6421) 7412
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	19,359	△0.6	792	43.6	772	20.0	461	24.7
27年3月期第3四半期	19,469	3.0	551	△31.6	643	△24.5	370	△46.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 435百万円(△34.6%) 27年3月期第3四半期 666百万円(△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	31.03	30.78
27年3月期第3四半期	25.07	24.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,978	10,954	49.9
27年3月期	20,828	10,815	48.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,471百万円 27年3月期 10,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—		
28年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	0.2	1,000	62.4	1,000	32.9	640	139.5	43.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	15,167,000株	27年3月期	15,167,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	259,099株	27年3月期	356,099株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	14,878,977株	27年3月期3Q	14,768,004株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ関連業界は、国内の企業収益及び雇用情勢に改善がみられたことや、住宅着工件数の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

このような環境のもと当社グループは、各市場への新製品の投入や高機能性製品の拡販を継続するとともに、海外市場や国内各市場・各地域で積極的な販売活動を継続してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、一般消費者関連市場での売上が伸長しましたが、建築土木関連市場及び工業関連市場での売上の減少により、前年同四半期比0.6%減少の19,359百万円となりました。一方、利益面につきましては、原油価格及びナフサ価格の下落により一部の原材料価格が値下がりしたことや、前連結会計年度まで計上していた退職給付会計基準変更時差異の費用処理が終了したことなどによる人件費の減少により、営業利益は792百万円（前年同四半期比43.6%増加）、経常利益は772百万円（前年同四半期比20.0%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は461百万円（前年同四半期比24.7%増加）となりました。

なお、セグメントごとの業績につきましては、当社グループの事業は、報告セグメントが「接着剤及びシーリング材事業」のみであるため、売上状況を内部管理上の区分である市場別に区分して記載しております。

① 建築土木関連市場

世界有数の長大吊橋となる、トルコ共和国イズミット湾の横断橋工事にて、「セメダインY630D」の性能が評価され、採用となりました。

新設住宅着工件数の持ち直しなどから戸建て住宅向けの売上が伸長したものの、価格競争の影響もあり、売上高は9,144百万円（前年同四半期比0.2%減少）となりました。

② 工業関連市場

UV照射後に貼りあわせが可能で、硬化後は高い柔軟性を有し優れた接着耐久性を有する機能性接着剤「セメダインSX-UVシリーズ」の販売を開始いたしました。

機能性接着剤の売上及び海外の自動車産業向け売上は堅調に推移したものの、国内の自動車産業向け売上及び海外の電子部品産業向け売上が伸び悩んだことなどにより、売上高は7,020百万円（前年同四半期比2.4%減少）となりました。

③ 一般消費者関連市場

「セメダインnu〜no！（ぬ〜の！）」など趣味手芸分野における新製品の投入で拡販を図るなど積極的な販売活動を行いました。

コンビニエンスストアでの新規採用やホームセンター関連市場の売上が伸長したことなどにより、売上高は3,103百万円（前年同四半期比2.6%増加）となりました。

④ その他

その他の売上は不動産賃貸収入であります。賃貸収入は90百万円（前年同四半期比6.1%増加）となりました。

なお、筆頭株主である株式会社カネカによる当社株式の公開買付けの結果、平成28年1月20日をもちまして、同社は当社の「その他の関係会社」から「親会社」となりました。

同社との提携関係をさらに強化し、両社の資産、技術、ノウハウや海外ネットワーク等の経営資源の相互提供・有効活用を促進することにより、事業シナジーを創出し、更なる成長と発展を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度と比較し150百万円増加し、20,978百万円となりました。これは主に、現金及び預金が380百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が658百万円増加したこと、及び有形固定資産が211百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度と比較し10百万円増加し、10,023百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が200百万円増加したこと、及び事業構造改善引当金が147百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度と比較し139百万円増加し、10,954百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、利益剰余金が312百万円増加したこと、及び非支配株主持分が146百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月30日公表の連結業績予想を修正しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素がありますので、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等
を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が17,066千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,909,377	3,529,366
受取手形及び売掛金	6,961,341	7,619,873
電子記録債権	261,938	210,578
商品及び製品	1,484,120	1,527,689
仕掛品	227,811	201,834
原材料及び貯蔵品	717,898	765,232
その他	355,007	375,470
貸倒引当金	△3,989	△4,424
流動資産合計	13,913,506	14,225,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,409,224	2,290,340
その他(純額)	2,209,503	2,116,877
有形固定資産合計	4,618,727	4,407,217
無形固定資産		
のれん	469,183	406,781
その他	458,447	610,590
無形固定資産合計	927,630	1,017,372
投資その他の資産		
投資有価証券	806,744	821,584
その他	380,833	361,398
貸倒引当金	△5,562	△5,283
投資その他の資産合計	1,182,015	1,177,699
固定資産合計	6,728,374	6,602,289
繰延資産	186,758	151,013
資産合計	20,828,639	20,978,925
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,639,428	6,839,819
短期借入金	564,124	631,470
未払法人税等	145,438	190,877
賞与引当金	298,310	184,789
事業構造改善引当金	163,928	16,876
その他	972,792	906,624
流動負債合計	8,784,022	8,770,458
固定負債		
長期借入金	15,518	33,128
退職給付に係る負債	801,238	814,554
その他	412,464	405,825
固定負債合計	1,229,222	1,253,508
負債合計	10,013,244	10,023,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,050,375	3,050,375
資本剰余金	2,676,947	2,659,881
利益剰余金	4,197,438	4,510,284
自己株式	△116,176	△84,530
株主資本合計	9,808,584	10,136,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,031	151,384
為替換算調整勘定	154,461	96,325
退職給付に係る調整累計額	64,905	87,947
その他の包括利益累計額合計	354,398	335,657
新株予約権	53,984	31,813
非支配株主持分	598,428	451,478
純資産合計	10,815,394	10,954,959
負債純資産合計	20,828,639	20,978,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	19,469,826	19,359,196
売上原価	14,375,346	14,043,341
売上総利益	5,094,479	5,315,855
販売費及び一般管理費	4,542,973	4,523,740
営業利益	551,505	792,115
営業外収益		
受取利息	1,974	1,994
受取配当金	17,316	17,839
持分法による投資利益	9,926	3,188
受取ロイヤリティー	30,521	30,558
その他	114,942	38,948
営業外収益合計	174,681	92,530
営業外費用		
支払利息	3,512	7,905
売上割引	62,348	57,779
支払補償費	4,877	10,171
その他	12,046	36,672
営業外費用合計	82,785	112,528
経常利益	643,402	772,116
特別利益		
固定資産売却益	—	3,917
投資有価証券売却益	—	716
特別利益合計	—	4,633
特別損失		
固定資産除売却損	2,548	1,604
投資有価証券評価損	—	1,520
特別損失合計	2,548	3,125
税金等調整前四半期純利益	640,853	773,625
法人税等	216,026	291,487
四半期純利益	424,827	482,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	54,631	20,400
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,196	461,737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	424,827	482,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,764	16,353
為替換算調整勘定	38,142	△77,576
退職給付に係る調整額	172,769	23,042
持分法適用会社に対する持分相当額	3,767	△8,313
その他の包括利益合計	241,444	△46,494
四半期包括利益	666,271	435,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,427	442,996
非支配株主に係る四半期包括利益	69,844	△7,352

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。